

授業科目(ナンバリング)	社会福祉調査論(DB306)			担当教員	褒 孝承		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・前期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
<p>社会調査は、社会のありようを客観的に認識するための方法である。ソーシャルワーカーにとっては、地域及び各種施設・機関における利用者の生活実態やニーズ把握、地域社会の福祉に関する課題を調査し、明らかにすることを意味する。</p> <p>本科目では、社会の課題を情報収集し、分析するための専門的な能力を身につけ、そのことを自己及び社会の成長に役立てることができるソーシャルワーカーに必要とされる社会調査の知識と方法を学ぶ。</p>							①④⑤⑥⑦⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	社会調査に関する基礎的な用語・概念を説明できる。 量的・質的調査の手順について説明することができる。				定期試験 小テスト	10% 20%	
情報収集、分析力	調査データを類別し、各種収集・分析方法について理解できる。				定期試験	50%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	社会調査を計画・実施できる。				量的調査実習 質的調査実習	10% 10%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>調査実習（20%）では、量的及び質的調査の課題レポートなどで評価する。評価基準は、調査計画及び調査手段、その結果の適切さと発表の適切さである。定期試験（60%）は、社会調査の計画、実施、集計と分析、結果の解釈という一連の過程で必要とされる基礎的知識や概念の理解度を確認する（持ち込み不可；再試験を受ける場合は、必ず事前に教員に相談すること）。小テスト（20%）では、学習した用語・概念の理解度を問う。必要に応じて、授業内でフィードバックを行う。必要に応じて、ポートフォリオ上でフィードバックを行う。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>基本的には講義形式で授業を進めるが、実際に社会調査を体験してもらうための個別ワーク（調査実習）を通して、課題学習を行う。社会福祉士国家試験の過去問題も取り入れる。また、課題提出などでポートフォリオを活用する。社会調査の一連の流れは経験により身につくものなので、実際の調査設計を調査実習で体験することにより、理解を深める。本科目の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：社会福祉士養成講座編集委員会編（2013）『新・社会福祉士養成講座〈5〉社会調査の基礎 第3版』中央法規。 参考書：大谷信介ほか編（2013）『新・社会調査へのアプローチ — 理論と方法』ミネルヴァ書房。 指定図書：社会福祉士養成講座編集委員会編（2013）『新・社会福祉士養成講座〈5〉社会調査の基礎 第3版』中央法規</p>							
授 業 外 に お け る 学 修 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と							
<p>個別課題の調査実習では講義の時間外における活動も必要とされる。調査テーマの策定、調査方法の決定、調査の実施に至るまでの全過程は、主体的に行うものであるため、実習には積極的に参加することが求められる。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション 社会調査の概要①	科目全体の説明を経て、社会調査の意味について学ぶ。	予習：シラバスの確認、社会調査のイメージの整理 復習：教科書 1-11 頁
2	社会調査の概要②	社会福祉専門職と社会調査の関係、また社会調査の歴史について学ぶ。	予習：教科書 12-20 頁 復習：教科書 21-30 頁
3	社会調査の基礎と統計法	社会調査の意義、目的、対象、方法について学ぶ。(量的調査と質的調査の違い、各調査の意義など)。また、統計法について学ぶ。	予習：教科書 31-44 頁 56-62 頁 復習：小テストの準備
4	量的調査① 標本調査と全数調査	母集団を理解し、全数調査と標本調査について学ぶ。また、サンプリングの理論と方法を理解する。	予習：教科書 56-62 頁 復習：小テストの準備
5	量的調査② 横断的調査と縦断調査	横断的調査と縦断調査の種類について学ぶ。	予習：教科書 56-62 頁 復習：小テストの準備
6	量的調査③ 調査票の配布と回収、調査票の作成方法時の注意点	面接調査、配票調査、集合調査、郵送調査、電話調査など、調査票の配布方法の種類と特徴について学ぶ。また、調査票作成のワーディングの問題、ダブルバーレル質問、キャリーオーバー効果など。	予習：教科書 63-75 頁 復習：小テストの準備
7	量的調査④ 尺度と尺度作成練習	質問票に用いる 4 尺度(名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度)について学び、それぞれの特徴を理解する。また、量的調査のアンケートを構成する。(ノートパソコンの準備)	予習：教科書 76-79 頁 復習：小テストの準備
8	量的調査⑤ データ処理、集計と分析	単純集計と記述統計及びクロス集計について学ぶ。また、データの可視化について学ぶ。また、2 変量分析について学ぶ。	予習：教科書 79-90 頁 91-102 頁 50-56 頁 復習：小テストの準備
9	量的調査⑥ 量的調査実習	*小テスト(過去問)と解説 質問作成の方法などを参考に量的調査を実施する。(ノートパソコンの準備)	予習：量的調査の振り返り 復習：課題の作成
10	社会調査に必要な配慮と IT の活用方法	社会調査における倫理と個人情報保護と IT 活用について学ぶ。	予習：教科書 157-177 頁 復習：小テストの準備
11	質的調査の基礎	質的調査の特徴と種類、基本的な進め方について学ぶ。	予習：教科書 109-114 頁 復習：教科書 115-129 頁
12	質的調査の手法と分析	各種面接及び観察法、質的調査における記録と質的データの整理・分析について学ぶ。	予習：教科書 130-138 頁 復習：教科書 139-150 頁
13	質的調査の実施	質的調査実習を行い、グループワークとして取り組んだインタビューガイド作成についてプレゼンテーションと面接調査のロールプレイを実施する。	予習：発表の準備 復習：発表資料の加筆修正と提出
14	発表	調査実習を報告する。	予習：発表準備 復習：振り返りシート提出
15	まとめ	各回で学んだ事項のまとめを行う。	予習：全体内容の振り返り 復習：定期試験の準備
16	定期試験		